

【2018年3月新着図書案内】

情報コーナーに新しい図書が40冊入りました！

書名	著者名	出版社	発行年	分類	内容
『新聞記者』	望月衣塑子著	KADOKAWA	2017年	070.1モシロ	新聞記者の仕事とは何なのか。脚光を浴び、声援を受ける一方で、バッシングや脅迫、圧力を受けてきた著者が、その歩みをひもときながら、記者としての思いを明かす。
『そっと無理して、生きてみる 百歳先生の人生カルテ』	高橋幸枝著	小学館	2017年	159.7タオレンジ	「悩んでいるヒマがあったら行動する。これが100歳を超えても現役でいられる原動力」と語る著者に元気づけられ、行動を起こすきっかけを与えてくれる一冊。
『宗教とジェンダーのポリティクス —フェミニスト人類学のまなざし』	川橋範子、小松加代子編	昭和堂	2016年	161.0カオレンジ	日本や中国などをフィールドとする女性研究者が、フェミニスト人類学のアプローチにより、同時代の多様な社会における女性の宗教実践に関する解釈や分析を試みる。
『平安朝の女性と政治文化 —宮廷・生活・ジェンダー』	服藤早苗編著	明石書店	2017年	210.3フアオ	平安時代の生活と社会をテーマに、朝廷に奉仕する女房・女官や貴族層の生活文化などにスポットを当て、当時の人々にとっては身近で個人的な視点から、政治文化を解明する論文集。
『歴史を学び、今を考える —戦争そして戦後』	内海愛子、加藤陽子著	梨の木舎	2017年	210.7ウアオ	戦後70年、大きな揺れの中、われわれはどういう視点を持って今の時代を生きるべきか。恵泉女学園大学平和文化研究所・戦後70年特別座談会の記録。
『嵐を呼ぶ少女とよばれて —市民運動という生きかた』	菱山南帆子著	はるか書房	2017年	289.1ヒアオ	「差別はダメ！ 戦争は嫌だ！ 自由が欲しい！」を原点として行動する著者が、これまでの体験や取り組んできた数々の創意工夫を紹介することで、市民運動の豊かな可能性を拓く。
『大人のための社会科 —未来を語るために』	井手英策、宇野重規、 坂井豊貴、松沢裕作著	有斐閣	2017年	301イアカ	日本の社会を形づくる12のキーワードを取り上げ、意味を吟味しなおし、経済、政治、社会をめぐるさまざまな出来事を、わかりやすい言葉と多様な視点で解き明かす。
『死後離婚』	吉川美津子、芹澤健介、 中村麻美著	洋泉社	2017年	324.6キアカ	急増する「死後離婚」とは何か？ 体験談に加え、離婚問題に詳しい弁護士や行政書士、夫婦問題カウンセラー、葬儀・お墓のコンサルタントなどに取材し、多面的に迫る。
『危機の現場に立つ』	中満泉著	講談社	2017年	329.3ナアカ	子育てと両立してグローバルに働く方法など、国連軍縮担当事務次長として世界中の紛争地で平和活動に奮闘する著者が、国際協力を目指す人たちに有意義なメッセージを送る。

書名	著者名	出版社	発行年	分類	内容
『対話する社会へ』	暉峻淑子著	岩波書店	2017年	361.4テ アカ	個人の成長過程、地域、社会、国家など、あらゆる局面でいかに「対話」が喪われ、その結果何が起きているのか。豊富な事例をもとに、対話の本質を探究する。
『「男損」の時代 —「熟メン」が人生をソンしない 18の知恵』	牛窪恵著	潮出版社	2017年	361.6ウ アカ	世界的に見て極端に幸福度の低い日本の中老年男性。その中で、男たるものの呪縛から解放され、自分らしく生きようとする男性たちの実践法や深層心理を紹介する。
『結婚差別の社会学』	齋藤直子著	勁草書房	2017年	361.8サ アカ	部落出身者への結婚差別のプロセスを丹念に記述するために行った聞き取り調査を分析することに加え、支援に関する聞き取りから得た実践のヒントや今後の課題についても収録。
『労働者階級の反乱 地べたから見た英国EU離脱』	ブレイティみかこ著	光文社	2017年	361.8ブ アカ	なぜ英国の労働者階級の人々の多くがEU離脱を選んだのか。英国在住のライターが、自分を取り巻く労働者階級の人々を理解するために、その階級が形成された歴史などを学習した記録。
『地域連携による女性活躍推進の実践 持続可能な地域づくりに活かす行政と 民間のつながり』	独立行政法人 国立女性教育会館編	悠光堂	2017年	366.1コ ミズイロ	様々な分野において、多様な関連機関がかかわり連携しながら進められている「女性の活躍推進」。この実践について、地方公共団体や男女共同参画センター等の取り組みを中心にまとめる。
『世界一子どもを育てやすい国にしよう』	出口治明、駒崎弘樹著	ウェッジ	2016年	364.1デ ピンク	NPOで病児保育などを手がける保育の専門家と、生命保険ビジネスの世界で仕事をしている二人が、少子化問題について語り合う対談集。
『働く場のリアル —「女性活躍」と言わせない—』	女性労働問題研究会編	女性労働問題 研究会	2017年	366.3ジ ミズイロ	『女性労働研究 第61号』 特集1「同一労働同一賃金」を問う 特集2「働き方改革」と女性
『育児は仕事の役に立つ 「ワンオペ育児」から「チーム育児」へ』	浜屋祐子、中原淳著	光文社	2017年	366.7ハ ギン	育児によって、仕事の能力が高まることがあるのか？どんな能力が高まるのか？夫婦を中心とするチーム育児の経験が、それぞれの仕事にポジティブな影響をもたらすことを論じる。
『女たちが立ち上がった 関東大震災と東京連合婦人会』	折井美耶子、 女性の歴史研究会編著	ドメス出版	2017年	367.1オ ミドリ	関東大震災の女性の眼で見た被害実態、女性たちの救援状況、救援協力から生まれた東京連合婦人会が、廃娼運動と婦選運動という全国組織を生み出す原動力になった経過などを明らかにする。
『男女平等は進化したか 男女共同参画基本計画の策定、 施策の監視から』	鹿嶋敬著	新曜社	2017年	367.1カ ミドリ	国の男女共同参画基本計画第1次～第4次策定にかかわった著者が、これまでの男女共同参画社会形成のための活動など、個人的な体験をベースに男女平等の進化論を展開する。
『日本とフランスのあいだで —思想の軌跡』	棚沢直子著	御茶の水書房	2017年	367.1タ ミドリ	フランス学研究者である著者の思想はいかに形成されたか。「日本の母と父」「フランスの恋愛思想」などをテーマに思考する。

書名	著者名	出版社	発行年	分類	内容
『男も女もみんなフェミニストでなきゃ』	チママンガ・ソゴズィ・アディーチェ著 くぼたのぞみ訳	河出書房新社	2017年	367.1チミドリ	世界的な作家として注目を集める著者が、ステレオタイプではない自らの言葉で、フェミニストやフェミニズムについて語る。
『女性・人権・生きること 一過去を知り、未来をひらく』	天童睦子著	学文社	2017年	367.1テミドリ	女性と人権の歴史的・国際的考察を通して、女性の地位向上の歴史を理解し、世界の女性たちの共通課題と身近なジェンダー問題を考える。女性と人権を学ぶための入門書。
『「家事のしすぎ」が日本を滅ぼす』	佐光紀子著	光文社	2017年	367.2サミドリ	翻訳家であり家事や掃除術の専門家である著者が、聞き取りや国際比較などを参照しながら、気楽で苦しくない家事との付き合い方を提案する。
『ワンオペ育児 わかってほしい休めない日常』	藤田結子著	毎日新聞出版	2017年	367.2フミドリ	若い子どもを育てる母親とその周囲の人たち、育児する父親の状況などを紹介し、朝から晩まで働きづめの母親たちの実情に迫る。
『産まなくても、育てられます 不妊治療を超えて、特別養子縁組へ』	後藤絵里著	講談社	2016年	367.3ゴキヨ	特別養子縁組で子どもを迎える選択をした8組の夫婦の体験談と、養子縁組についての実践的な情報をまとめる。
『母・娘・祖母が共存するために』	信田さよ子著	朝日新聞出版	2017年	367.3ノキヨ	娘の被害・母親の病理といった心理的問題に帰結させるのではなく、家族・世代という視点を投入し、団塊女性に象徴される母親たちの抱える困難さにも言及する。
『国家がなぜ家族に干渉するのか 法案・政策の背後にあるもの』	本田由紀、伊藤公雄編著	青弓社	2017年	367.3ホキヨ	国家が家族の望ましい姿を強固に定め、直接的に人々の行動を変容させようとするものである現在進行中の法案・制度について、その背景と内実を分析する。
『サイレントマザー 貧困のなかで沈黙する母親と子ども虐待』	石川瞭子編著	青弓社	2017年	367.6イギン	自身について多くを語らず、助けを求めることもしない「サイレントマザー」。児童虐待の事例を分析し、沈黙しないで！ と母親に訴え、機関・関係者に防止策を提示する。
『Xジェンダーって何？ 一日本における多様な性のあり方』	Label X編著	緑風出版	2016年	367.9ラオレンジ	Xジェンダー(出生時に割り当てられた男性もしくは女性の性別のいずれかに二分された性の自覚をもたない人々)とは何かを様々な角度から紹介し、わかりやすく論じる。
『いろいろな性ってなんだろう？』 いろいろな性、いろいろな生きかた①	渡辺大輔監修	ポプラ社	2016年	367.9ワオレンジ	いろいろな性、いろいろな生きかたをしている人たちの声を通じて、「いろいろな性とは何か」について学ぶ。
『カナダの女性政策と大学』	犬塚典子著	東信堂	2017年	377.2イギン	カナダの大学における女性の学生・教員の進出に影響を与えたと思われる政策を取り上げ、その方向性と特徴、具体的な改革の内容を考察する。

書名	著者名	出版社	発行年	分類	内容
『3.11後の子どもと健康 ー保健室と地域に何ができるか』	大谷尚子、白石草、 吉田由布子著	岩波書店	2017年	374.9オ キン	3.11後の子どもたちを放射線被爆から守るために、地域で暮らす住民 や学校の関係者は何をなすべきか。子どもたちの成長をどう支援してい けばいいのか。われわれにできることは何かを考える。
『「ハンサムマザー」はとまらない』	今尾朝子著	朝日新聞出版	2017年	589.2イ キン	今の子育てで世代のママたちが何を着て、何に悩んで、何を楽しんでいる かを、当事者以外に知ってほしいという、雑誌編集長である著者からの メッセージ。
『「パパは大変」が「面白い！」に変わる本 「仕事も家庭も」世代の新・人生戦略』	安藤哲也+NPO法人 ファザーリング・ジャパン	扶桑社	2017年	599ア キイロ	パパたちを取り巻く家庭・職場・地域におけるジレンマとその背景を見 たうえで、それらを克服し、パパが「大変」から「面白い」と思えるよ うになる実践的アイデア・方法を伝授する。
『最新科学でハッピー子育て 夜泣き・イヤイヤ・人見知りにも 理由があった！』	NHK出版編	NHK出版	2016年	599エ キイロ	社会や行政の課題として語られることの多い現代の育児問題を、人類の 進化や脳科学をルーツに、科学の視点で見つめ直す。
『イラストでよくわかる 感情的にならない子育て』	高祖常子著	かんき出版	2017年	599コ キイロ	どならない、たたかない子育てのためには、具体的にどうしたらいいの か。子どもと向き合い、子どもの心を育む子育てをはじめめるために書か れた本。
『卒母のススメ』	西原理恵子+卒母ーズ著	毎日新聞出版	2017年	599.0サ キイロ	毎日新聞が募集した「卒母」についての感想、体験談を101編収録。 さみしさ、ためらい、喜び…。著者と母たちの「卒母」悲喜こもごも。
『おらおらでひとりいぐも』	若竹千佐子著	河出書房新社	2017年	913.6ワ チャイロ	第158回芥川賞受賞作。74歳の主人公が辿り着いた、圧倒的自由と 賑やかな孤独とは一。新たな老いの境地を描く。
『血洗いするの、どっち？ 目指せ、家庭内男女平等！』	山内マリコ著	マガジンハウス	2017年	914.6ヤ チャイロ	「男性と暮らすとはどういうことか」。同棲から結婚生活を通して、男 性となんとか折り合いをつけながら、うまくやっていこうと模索、格闘 する日々の暮らしを綴る。
『母ではなくて、親になる』	山崎ナオコーラ著	河出書房新社	2017年	914.6ヤ チャイロ	妻は作家で、夫は町の書店員。妊活、健診、保育園落選など、子どもが 1歳になるまでの親子の日々を、心を開いて書いた出産・子育てエッセ イ。